
2016年度
環境活動レポート
(暫定版)

2016年6月～8月

発行日：2016年10月5日

豊かに快適な環境を求めて…



～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2
 - 2-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 2-2. 事業所所在地
 - 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 2-4. 創業（設立）年月日
 - 2-5. 資本金
 - 2-6. 認証・登録範囲
 - 2-7. 事業の規模
3. 環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～9
 - 3-1. 環境負荷の現状（平成27年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・ p 9
5. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・ p 11
 - 5-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 5-2. 法令違反・訴訟等の有無
6. 代表者による見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・ p 11
7. 環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・ p 12～13

株式会社エービーエムは、エービーエムエネルギー合同会社を設立し、太陽光発電による再生可能エネルギー事業を開始しました。（H2.9.24竣工）



ゴールデンウィークに開催される「米沢上杉まつり」。伝統あるお祭りを盛り上げようと、今年も社員有志で「上杉甲冑行列」や「川中島の合戦」に参加協力しました。





社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに快適
な環境を社会へ提供します

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。

環 境 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

平成28年6月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 事業所所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472 山形県南陽市宮内 4641

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：事業統括本部長 岸本幸博
- 連絡担当者：営業企画課課長 田口浩之
- 連絡先：TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
- Email：sale@y-abm.co.jp

2-4. 創業（設立）年月日

- 1968年（昭和43年）9月

2-5. 資本金

- 1,000万円



2-6. 認証・登録範囲

1) 対象サイト：本社ならびに南陽営業所

※指定管理施設については、次回更新審査時（平成30年度）までに対象に含めることとしています。

2) 事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）、ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）

2-7. 事業の規模

事業規模	事業年度	H27年度 (H27.4~H28.3)	H28年度 (H28.4~H29.3)
売上高(千円)		733,376	
認証対象従業員数／全従業員数		216／250	229／263
従業員数:本社		38	38
従業員数:南陽営業所		7	7
床面積(m ²):本社		303.9	
床面積(m ²):南陽		101.8	

注) 従業員数は各年度4月時点での在籍数です。認証対象従業員数は、指定管理施設に常駐する者を除いた人数となります。また、本社・南陽営業所の従業員数には、業務受託現場（指定管理施設を含む）に直行直帰する従業員は含まれていません。



3. 環境目標とその実績



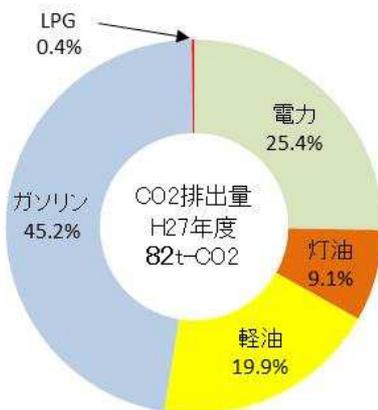
3-1. 環境負荷の現状(平成27年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、各電気事業者のH26年度実績値（東北電力：0.571）を用いています。

- 1) 当社における平成27年度（H27.4～H28.3）のCO₂排出量は、合計82,063kg-CO₂となっており、平均的な一般家庭15軒分の排出量に相当していました。
（平成25年度1世帯あたりの平均年間排出量は5,370kg-CO₂／出典：温室効果ガスインベントリオフィス）
- 2) 当社から排出されるCO₂の65%はガソリン・軽油の消費に伴うもので53,438kg-CO₂、次いで電力の使用に伴うものが25.4%、20,881kg-CO₂、灯油の消費に伴うものが9.1%、7,435kg-CO₂などとなっています。
- 3) ガソリン、軽油は、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4) 月別のCO₂発生量は12月～3月の冬期間（降雪期）に多くなっています。これは、暖房用の灯油の消費量が増加するためです。電気使用量は、8月と冬期間に増加する傾向が見られませぬ。ガソリン・軽油は、月による変動にあまり特徴はありません。
- 5) 以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・軽油の削減ならびに冬期間の暖房に伴う灯油・電力使用の削減などが重点課題となります。

<二酸化炭素の排出源(H27年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H27年度)>



■ 廃棄物排出量

- 1) 一般廃棄物については、6月以降、可燃ごみ、紙類（資源回収対象）は、本社・南陽それぞれ量を把握した上で排出します。それ以外のゴミは、米沢市の分別ルールに基づいて、本社で一括処理することにします。
- 2) 産業廃棄物については、汚泥（ワックス剥離液・洗剤廃液等）が大部分で全体の98%（3014kg）を占めています。その他の廃棄物については、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量（水使用量）

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。放流先は本社は公共用水域（浄化槽）、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量（購入量）

清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものがあるので、H28年度分から、集計を開始します。

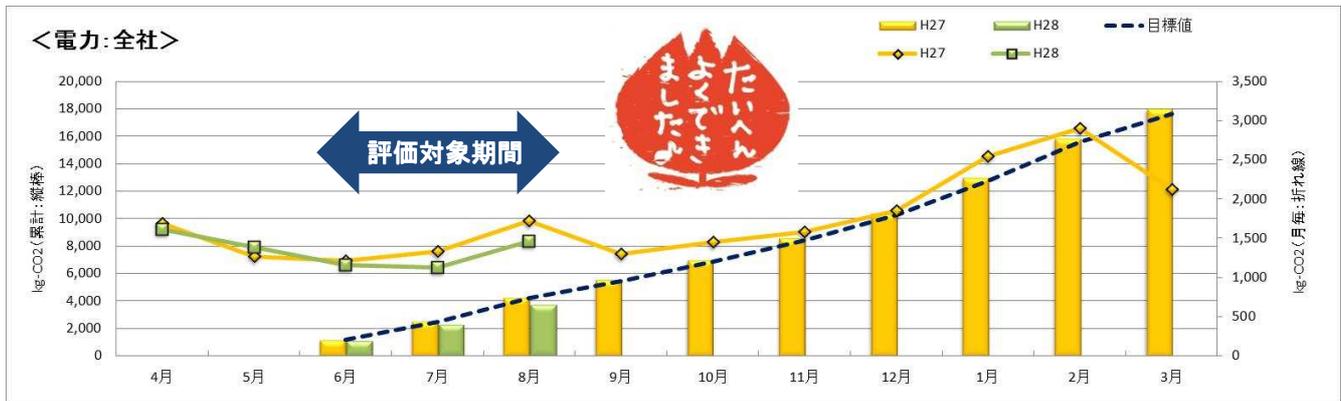


3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、7項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【H28年度目標】 H27年度比2%削減
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

- 基準年度実績：4,268 kg-CO₂
- 取組期間目標：4,182 kg-CO₂
- 取組期間実績：3,742kg-O₂
- 増減量：-526 kg-CO₂
- 増減率：-12.3%

【評価コメント】

本社11.6%減、南陽15.7%減と両サイトともに目標を十分にクリアできました。取組開始以降、従業員の環境に対する意識の変化が見られ、全体的に省エネ活動が浸透してきたことが削減できた要因と考えます。特にエアコンをなるべく使わないようにした効果が表れたと思います。また、グリーンカーテンの効果もあったと思います。

■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【H28年度目標】 H27年度比2%削減／燃費の把握
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比10%削減する／基準年度燃費を10%向上



【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

- 基準年度実績：9,657 kg-CO₂
- 取組期間目標：9,464 kg-CO₂
- 取組期間実績：9,050 kg-O₂
- 増減量：-607 kg-CO₂
- 増減率：-6.3%

【評価コメント】

本社4.2%減、南陽22.3%減と両サイトともに目標を十分にクリアできました。エコドライブの意識向上、エアコンの使用をなるべく控えるなどの効果があったものと思われます。また、現場の直行直帰が増えたことにより、走行距離が減少することも要因のひとつと考えます。



■ 二酸化炭素排出量（軽油）



【H28年度目標】H27年度比2%削減
 【中期目標（H28～32）】H27年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

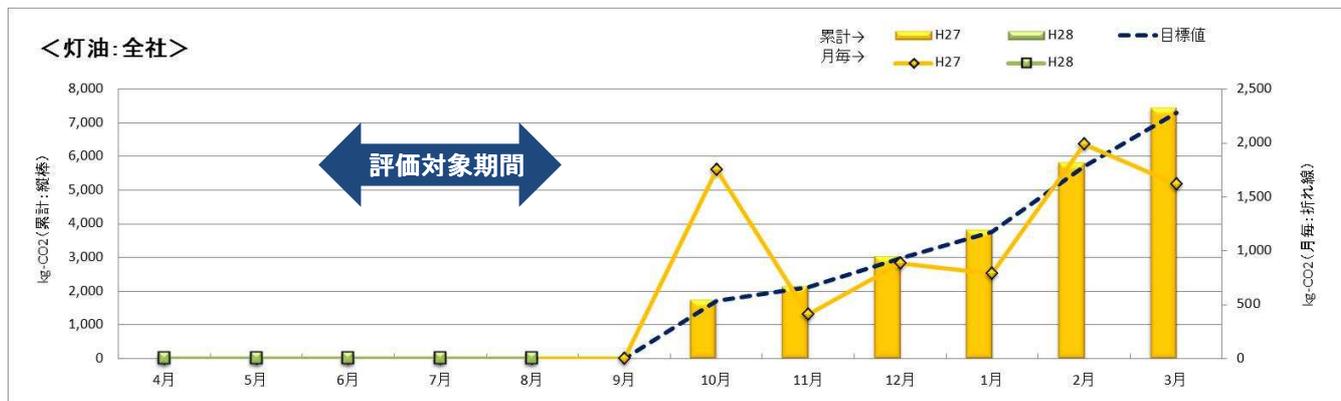
- 基準年度実績：4,229 kg-CO₂
- 取組期間目標：4,145 kg-CO₂
- 取組期間実績：3,766 kg-CO₂
- 増減量：-463 kg-CO₂
- 増減率：-11.0%

【評価コメント】

本社12.9%減、南陽3.1%減と両サイトともに目標をクリアできました。ガソリンと同様、エコドライブの意識向上、エアコンの使用をなるべく控えるなどの効果があったものと思われれます。なお、この期間の業務量は、むしろ増加傾向にありました。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【H28年度目標】H27年度比2%削減
 【中期目標（H28～32）】H27年度比10%削減

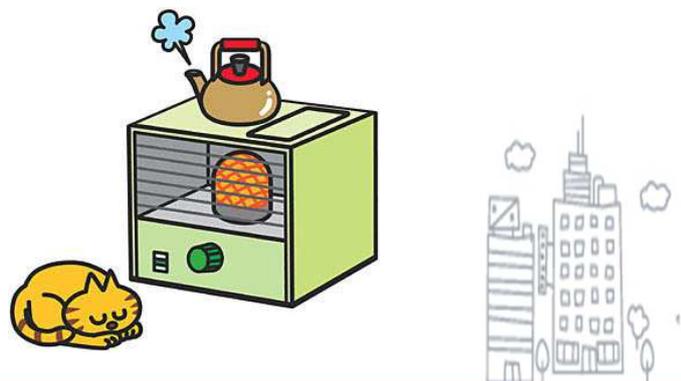


【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

- 基準年度実績： kg-CO₂
- 取組期間目標： kg-CO₂
- 取組期間実績： kg-CO₂
- 増減量： kg-CO₂
- 増減率： %

【評価コメント】

この期間の灯油使用はありませんでした。



■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【H28年度目標】 H27年度比2%削減する
 【中期目標（H28～32）】 H27年度比10%削減する



【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

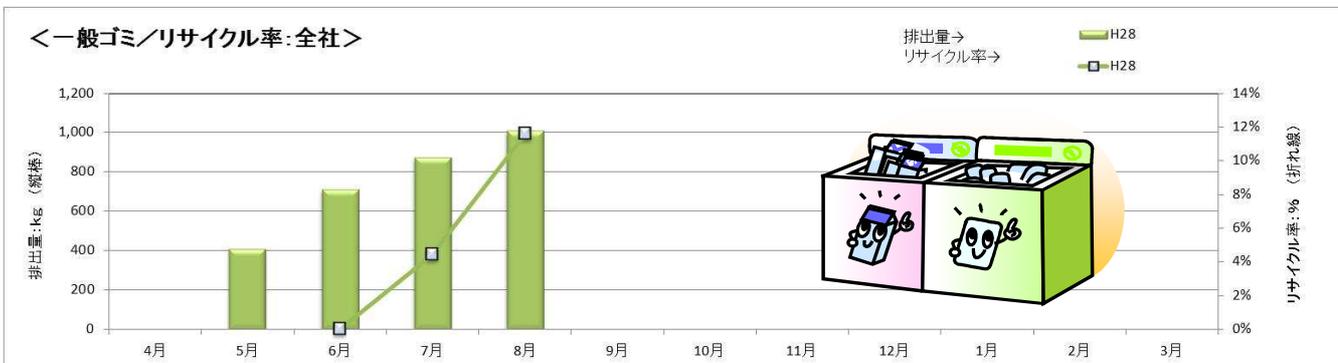
- 基準年度実績：61.5 kg-CO₂
- 取組期間目標：60.3 kg-CO₂
- 取組期間実績：**59.0 kg-CO₂**
- 増減量：-2.5 kg-CO₂
- 増減率：-4.0 %

【評価コメント】

全体としては4%減と目標をクリアできていますが、本社21.4%減、南陽8.8%増となっています。両サイトともにこの期間、LPGの使用はほとんどないことから、原因はよくわかりません。今後の状況を注視していきます。

■ 一般廃棄物排出量

【H28年度目標】 分別の徹底と排出量・リサイクル率の把握
 【中期目標（H28～32）】 H28年度比で排出量10%削減・リサイクル率10%向上



【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

- 基準年度実績：排出量 kg, リサイクル率 %
- 取組期間目標：排出量 kg, リサイクル率 %
- 取組期間実績：排出量**1,008 kg**, リサイクル率**12%**
- 増減量：排出量 kg, リサイクル率 %
- 増減率： %

【評価コメント】

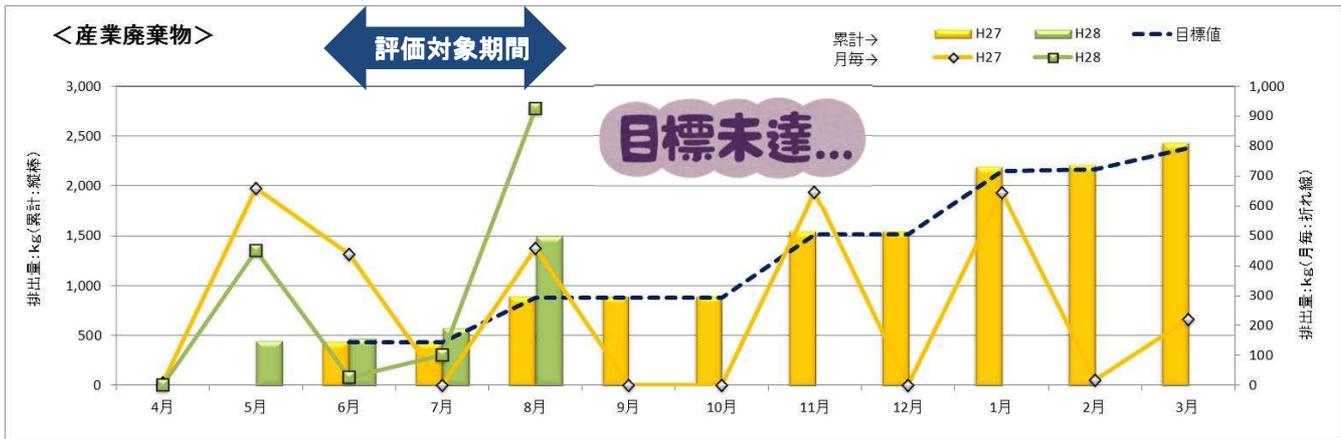
排出量は、本社968kg、南陽39kg、リサイクル率は、本社9%、南陽78%と両サイトで大きな相違がありました。分別のルールを決め、排出量の把握を始めましたが、まだ、十分には徹底されていないようです。可燃ゴミを減らす工夫が必要です。



■ 産業廃棄物排出量



【H28年度目標】 H27年度比2%削減
 【中期目標 (H28~32)】 H27年度比10%削減



【取組結果】 (取組期間: H28.6~H28.8)

- 基準年度実績: 900 kg
- 取組期間目標: 882 kg
- 取組期間実績: **1,500 kg**
- 増減量: +600 kg
- 増減率: +66.7 %

【評価コメント】

8月に汚泥(ワックス剥離液等)を924kg排出しました。この時期、お盆休暇に合わせた定期清掃業務が増加したためです。産廃発生量は業務量に比例するので、削減することは難しいのが現状ですが、今後も「剥離汚水処理マニュアル」に基づき、適切に処理していきます。

■ 水使用量



【H28年度目標】 H27年度比2%削減
 【中期目標 (H28~32)】 H27年度比5%削減



【取組結果】 (取組期間: H28.6~H28.8)

- 基準年度実績: 152 m³
- 取組期間目標: 149 m³
- 取組期間実績: **145 m³**
- 増減量: -7 m³
- 増減率: -4.6 %

【評価コメント】

本社は、1.1%削減と目標にはわずかに届きませんでしたが、南陽では、10.3%削減と大きく目標をクリアしました。取組は、啓蒙活動が中心ですが、ポットを2つから1つに減らす、洗濯回数を減らす、蛇口の元栓で出る量を絞るなどの小まめな対策が功を奏したものと考えます。

■ 化学物質使用量 (PRTR対象物質)

【H28年度目標】 使用量を把握
 【中期目標 (H28~32)】 基準年度比20%削減

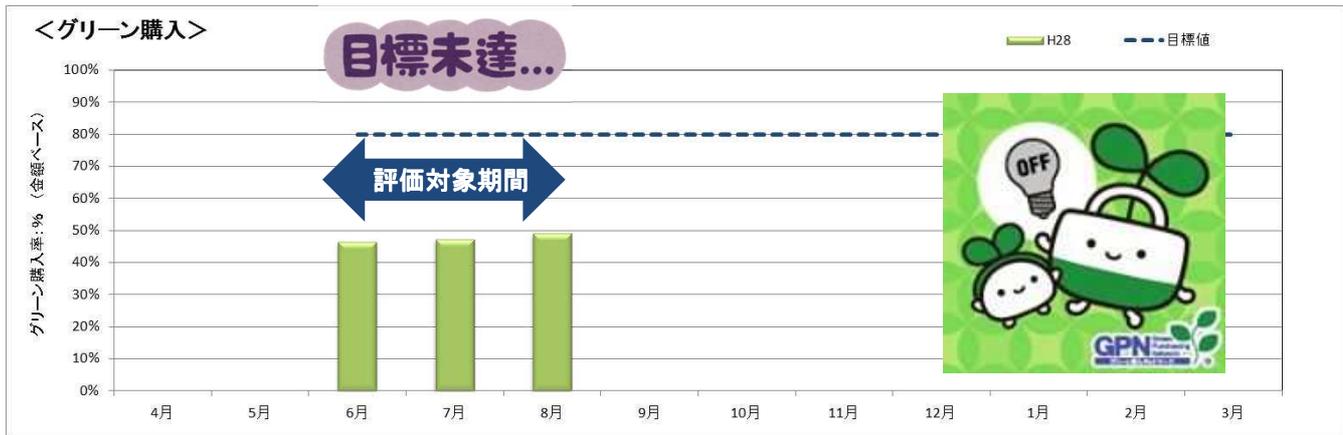
【評価コメント】

清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤などの成分をSDSをもとに調査中です。



■ グリーン購入

【H28年度目標】グリーン購入率の把握（80%以上）
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上を維持



【取組結果】（取組期間：H28.6～H28.8）

- 取組期間目標：80%
- 取組期間実績：49%

【評価コメント】

事務用品購入量の約2割を占めるコピー用紙がGPN対象外であることに気がつき、対象品に変更しました。その分、今後徐々に改善されていくと思われま。

■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

- 1) 社員のスキルアップ
 …スキルアップ研修会の実施

社はならびに環境方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催していきます。

- 2) 誤発報による緊急出動回数の削減
 …該当発生回数の把握&原因分析

機械警備業務において、センサー誤作動による出動回数の削減を目指します。この取組により、警備車両運行に伴うガソリン使用量の削減にもつながります。本年度は、誤発報の発生回数の把握と原因分析を実施します。

当社は、経営理念として「Customer Delight（お客様感動）」を掲げ、社員の知識・意識・技術向上を目的とした社員研修・教育を積極的に実施しています。エービーエム清掃スタッフは、「お客様感動」をモットーに清掃の技術・知識はもちろん元気なあいさつ、マナーなど「おもてなし」の心を持ち、お客様や社会に奉仕するための「人間力」を磨いています。



清掃従事者研修会スペシャリストコースを開催しました！



■ 地域の環境保全（山形エコアクション2.1対応項目）

【H28年度目標】 会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～32）】 上記を継続的に実施



ゴミが側溝に入れば、やがては、米沢を源流とする山形県の母なる川「最上川」を汚すこととなります。このことを念頭に置いて、環境方針に定める「地域の環境を保全する」ため毎月1回、会社周辺の清掃活動を実施しています。また、山形県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けている環境NPO「環境ネットやまがた」に入会しました。今後、その活動を積極的に支援・協力していきます。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度取組内容



<評価判定の目安>

○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。

△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。

×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	6～8月	備考／是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	○	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	○	
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	
		■定期的エアコンのフィルターを清掃	○	
		■不要な照明は消灯	○	
		■クールビズの推進（機能性下着の着用）	○	
		■ウォームビズの推進（保温性の高い下着の着用）	△	PCごと設定を確認する
		■パソコンは省エネモードで使用	△	経費を確認する
		■トイレの暖房便座は夏期OFF（温水の温度設定は「低」）	○	
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	○	
	■電力モニターの導入検討（電力使用量の見える化推進）	△		
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	■エコドライブの教育研修	△	DVDを利用
		■エコドライブ自己評価を実施（チェック表による）	△	4半期ごとに実施
		■燃費・走行距離の把握（車両日報の記入）	○	
		■5000km（6ヶ月）ごとにオイル交換、10000km（1年）ごとにエレメント交換（ハイブリッド車は別途規定する）	○	
		■適切な時期でのタイヤ交換	△	
		■適切な空気圧の維持	○	
		■エコタイヤの導入	○	
		■不要な荷物を乗せたままにしない	○	
■業務の効率化（車両運行ルート管理）		○		
■計画的な低燃費車両への入れ替え	○			

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	6～8月	備考／是正処置の必要性等
二酸化炭素の排出削減	■その他化石燃料の削減(灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	/	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	/	
		■ウオームビズの徹底(服装による省エネ推進)	/	
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	○	
廃棄物適排出量の削減と	■一般廃棄物の削減(リサイクルの推進)	■分別のルール確立と周知徹底	△	一部で未周知
		■廃棄物置場の整理整頓	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	△	現実的に難しい
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■社内の整理整頓	△	個人差がある
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	
		■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行	○	
		■充電式乾電池への転換	○	
		■マニフェスト・契約書類の管理	○	
	■委託先の状況確認	—	11月に実施予定	
管物化学	■対象化学物質の管理	■SDSの収集整理・対象製品・使用量の把握	○	
	■対象化学物質の削減	■対象化学物質含有量の少ない製品の選定	△	調査を先行させる
	■清掃方法の改善	■化学物質を使用しない清掃手法の検討(情報収集)	○	
の総排水削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	/	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	○	
(製品関連)自主設定項目	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■機器点検の実施	○	
		■異常発報件数の把握	△	本格的にはこれから
		■対策の検討	△	本格的にはこれから
山形EA21	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の入会(支援・協力)	△	入会手続き中
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	

取組期間が3ヶ月と短期間だったこともあり、取り組みが不十分と判定された項目も多くなっています。これらの項目については、備考欄に示した内容に沿って確実に実施して行きます。

<次年度以降の取組の概要>

初年度、本社ならびに南陽営業所でスタートさせた取組を平成29年度以降、指定管理先まで広げていくことが最優先課題となります。指定管理施設の特徴や契約形態など、状況に応じた取組を策定し、着実に実施していきたく思います。当社の業務はサービス業であることから、取組の内容はハード面より、ソフト面が中心となります。従業員の環境教育の充実により、モチベーションを高め、質の高いサービスを提供していきたく思います。



事務所の南側にゴーヤを植えました。
(H28.7)早く育て、「緑のカーテン」になってほしい。



5. 環境関連法規等の遵守状況、 訴訟等の有無



5-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

5-2. 法令違反・訴訟等の有無

当社では、下記の環境関連法規等が適用されますが、平成28年8月31日付でその遵守状況を確認した結果、置賜広域事務組合火災予防条例、廃棄物処理法、フロン排出抑制法について、いくつかの問題点が発見されましたが、下記のとおり、適切に改善されたことを確認しています。

- 西置賜行政組合火災予防条例：少量危険物貯蔵所（灯油タンク）の届出（H28. 8. 31完了）
- 廃棄物処理法：保管場所への掲示板設置（H28. 8. 31完了）、委託先の状況確認（H28. 11予定）
マニフェスト実績報告の提出（H28. 9. 9提出）
- フロン排出抑制法：エアコン等の簡易点検の実施（H28. 9から実施）
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
- 浄化槽法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 自動車リサイクル法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6. 代表者による見直しの結果



平成28年6月にキックオフを行い、コンサルタントの指導の下、認証取得に向けた取組をスタートさせ、3ヶ月の試行期間を経て、登録審査に臨むこととなりました。取組開始から、まだ4ヶ月余りと日も浅いこと、現段階では、本社ならびに南陽営業所限定の取組であることから、まだまだ、全社的に、システムが十分に機能しているとは言い難いのが現状です。しかし、推進委員を中心とした活動の形が見えてくるにしたがって、少しずつ、周囲の社員の意識も変化しつつあるように感じます。

3ヶ月の取組の成果を見ると最も環境負荷の大きいガソリン、軽油の削減の取組結果については、その成果が十分に表れたと思います。その他の活動もほぼ満足の行く結果でした。ただ、ゴミの分別などについては、なお、周知を徹底して行く必要があると思います。

本社・南陽営業所での取組の定着化を急ぎ、その取組を指定管理先も含め、全社的に拡大していく必要があります。そのためには、実施体制の強化も課題であると思います。安全衛生の取組と同様、環境への取組も業務と一体化して、自然体で行われていくことを願っています。

株式会社 エービーエム

代表取締役社長 赤間 俊明





株式会社エービーエム環境コミュニケーションレポート

A-cology (えーころじー)

認証登録へキックオフ!!

平成28年6月、米沢市市民文化会館において、株式会社エービーエムエコアクション21キックオフミーティングが開催されました。社員の関心も高く約80名が参加されました。赤間社長から環境理念が発表され「私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現のため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、安全・安心・清潔を通して真心サービスを提供しお客様の環境負荷の削減に寄与します」と述べられたあと、具体的な環境行動指針が発表されました。つづいて、エービーエムエコアクション21コンサルタントで、河合環境コンサルタント事務所所長の河合直樹先生からエコアクション21についての講話がありました。先生からは「エコアクション21は単なるケチケチ活動でない。環境マネジメントシステムを経営革新のきっかけ作りにもしてもらいたい。大切なのは社員のモチベーションをいかに引き出すかどうかである。」とお話をされました。最後に五十嵐南陽営業所所長から平成28年度エコアクション21推進委員会のメンバーが紹介されました。



社有車 E-1GP

7月	燃費	車種	所属	先月
1位	14.7km	日産モコ	営業	-
2位	14.5km	トヨタポポックス	営業	3位
2位	14.5km	日産アイ	業務部	2位
3位	14.4km	ホンダシャトル	設備	1位
4位	14.3km	スズキリアW	業務部	5位

まさかの1位は、ランク外から大幅アップの日産モコでした。勝因をお聞きしたところ、「エアコンを極力控えて、窓を開けていた」ということでした。しかし、2位から4位までの燃費は先月の2位に相当するぐらいの結果でした。他の社有車も非常に健闘していました。エコドライブを心がけていただいたんですね。適度な温度管理で引き続きエコドライブをお願いします。次回もお楽しみに！

今月のECO目標

ゴミの分別の徹底！
(捨てる前に再確認)

ゴミの分別を徹底しましょう。ゴミはゴミ、資源は資源です。特に、コンビニなどの弁当容器ですが、出来る限り水洗いして水を切ってからプラスチックゴミ箱へ出せば資源になります。大きな声では言えませんが、コンビニで買ったゴミはコンビニに。職場には、仕事以外のゴミは持ち込まないように心がけましょう。

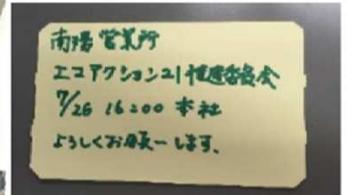


エコアクション始めました!!

エコアクション推進委員会を中心に、株式会社エービーエムでは、エコアクション21認証取得のため、社員周知のために様々な方策を実施しております。取り組みの一部を紹介します。

- 古紙回収ボックスの購入設置
- ゴミ箱のリニューアルとポップの設置
- 省エネへの周知のポップ設置
- 本社事務室の照明LED化及び分灯化
- 緑のカーテン（社長室）
- 事務室のすだれ設置
- 駐車券の再利用
- エアコン設定温度28度厳守
- クールビズ実施
- 廃棄物の保管場所の表示
- エコアクションチャレンジシール作成
- ゴミの計量実施

などなど。そしてこの「えーころじー」の発行です。ゴーヤーの収穫がまもなくです。「欲しい!」という方はEA21推進委員会のメンバーまで(先着順)



7月度 環境負荷表 (対象：本社及び南陽営業所)

本社	購入電力	灯油	LPG	ガソリン	軽油	水使用量	一般廃棄物排出量	産業廃棄物排出量	化学物質使用量	エコ商品購入率
	(kwh)	(l)	(m)	(l)	(l)	(m)	(kg)	(kg)	(kg)	(%)
H27	1,950	0	1.5	1,346	460	35	230	0	-	-
H28	1,632	0	0.8	1,178	327	32	150	100	-	62.5
増減	↓	→	↓	↓	↓	↓	↓	↑		

営業所	購入電力	灯油	LPG	ガソリン	軽油	水使用量	一般廃棄物排出量	産業廃棄物排出量	化学物質使用量	エコ商品購入率
	(kwh)	(l)	(m)	(l)	(l)	(m)	(kg)	(kg)	(kg)	(%)
H27	375	0	1.7	179	131	20	-	-	-	-
H28	330	0	2	163	93	18	13.1	0	-	19
増減	↓	→	↑	↓	↓	↓				

7月は昨年度と比較して、軒並み環境負荷が減少しております。社員の皆様の日頃のエコへの意識や取り組みのおかげと思っております。引き続き、無理の無いエコ活動をお願いいたします。

安全も衛生も 環境も・・・ 「三方良し」



株式会社エービーエム発行
安全衛生委員会広報誌

安全衛生面で配慮された職場は、作業効率も働く人のモチベーションも高く、環境にもやさしい職場です。



社長賞

ユーモア川柳の部

社長賞1本・優秀賞2本

ビル管を 取るぞと開けた ビール缶

文化会館 加藤係長

思ってもいなかった社長賞をいただきました。ありがとうございます。

多くの素晴らしい作品の中でこの賞をいただいたことを嬉しく、そして重く受け止めています。ビル管試験までは、ビール缶ではなく問題集を開けるよう努めてまいります。



会長賞

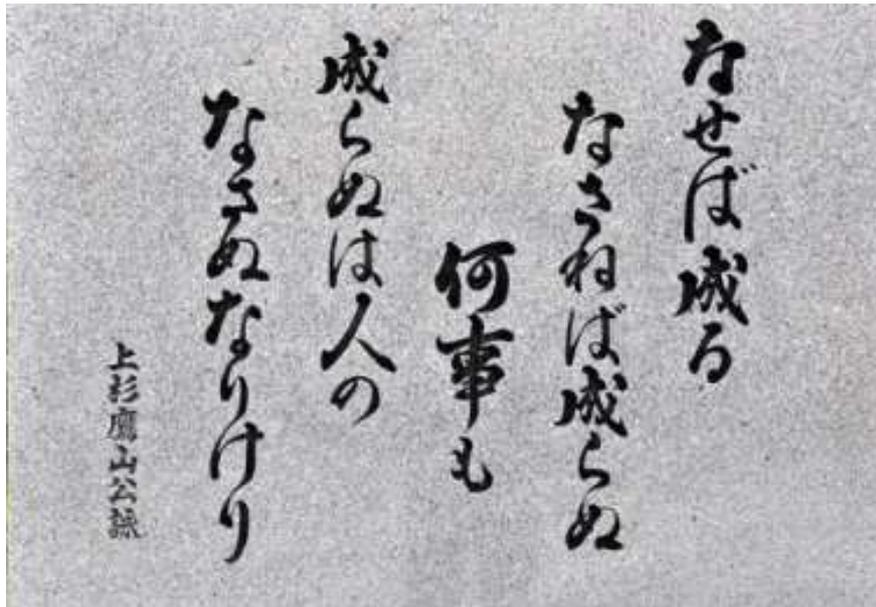
安全衛生標語の部

会長賞1本・優秀賞5本

慣れた作業も過信せず 原点回帰でゼロ災害

米沢市立病院 村上健寿

前々回は川柳で社長賞。今年は思いがけない会長賞をいただきました。もううれしく思っております。毎回応募していますが安全標語になるとありふれた標語にならないようにと深く考えすぎていましたが、今回は本年度当社のスローガン「原点回帰」を使ってシンプルにした結果的中しました。受賞した標語をしっかりとインプットして日々作業にあたりたいと思います。



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
認証取得後は、弊社HP (<http://www.y-abm.co.jp/>)、
エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でも
ご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市産田町産田584-2
TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
Email : sale@y-abm.co.jp

